



学校だより

流山市立西初石小学校
校長 草刈 俊晴
(在籍児童数 717 名)
増刊号平成 30 年 2 月 21 日
<http://www.nagareyama.ed.jp/nshatusyo>

平成29年度学校教育活動アンケート 集計結果・考察 特集

1. はじめに

日頃より本校教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

今回の学校だよりでは、平成 29 年 1 月 21 日～15 日に実施しました学校教育活動アンケート調査の結果とその考察についてご報告いたします。

アンケートは、児童については、全校児童 717 名を対象にアンケート用紙を配布し、714 名が回答（回答率 99.6%）しました。保護者の方からは全家庭 588 件中、545 件より回答をいただき、回収率は 92.3%でした。教職員については、県職、市職（臨時職員を含む）全職員を対象に行いました。

なお、各項目は学校が目指すべき姿であり、その達成状況を昨年度と比較できるように、設問は 28 年度とほぼ同一にしました。一部、あいさつについての設問を「お子さんは」から「西初石小学校の子どもたちは」と対象を広げた点を変更したとともに、「個に応じた支援ができているか」についての設問を追加いたしました。

2. 全体の考察

29 年度は、昨年度のアンケートの結果を受けて、学校運営のキーワードを「いじめ」「安全」「傾聴」「連携」「発信」の 5 つにして取り組んでまいりました。

「いじめ」については、アンケートの数字の上（設問 10）では大きな変化はありませんでしたが、児童や保護者の不安を少しでも減らせるよう、いじめアンケートの適切な活用やいじめ防止委員会の運用、保護者の方への迅速な連絡等に心がけてきました。今後、情報の共有により力を入れていきたいと思えます。

「発信」については、安全に関することや学級早退等の連絡、宿泊学習の現地での様子など必要に応じてメール送信（2 月 20 日現在計 71 件）をさせていただきました。また、29 年度はホームページの毎日更新を目標として職員がチームを組み、故障などのトラブルを除き、毎日更新を実行できました（2 月 20 日現在 204 件）。さまざまな活動を通して子供たちが成長していく様子を保護者や地域の皆様にご覧いただき、ご意見・ご感想をいただければありがたいです。

「連携」についてはまず「傾聴」からと考えます。今年度、子どもたちの声をもっといねいに聞いてほしいという保護者の声をいただくことができました。子どもたちへの対応の仕方について考えるよい機会をいただきました。今回のアンケート結果（設問 8）もふまえ、次年度も引き続き努力したい点です。

「安全」について、29 年度は地震や火災への訓練に加えて J アラートへの対応、ヒアリへの注意喚起などを行いました。また、校外補導委員の方や地域の交通安全ボランティアの方のご協力を得て、登下校時の歩き方について地域の方からの声を全校児童に届けました。災害時対応としては、流山市役所防災危機管理課の指揮により、地域の自治会の方の協力で「避難所運営マニュアル」が整いました。一方、29 年度は校内でのけがが多発したため、30 年度は校舎内外の施設設備の安全確保はもちろん、交通安全を含めた児童の生活のしかたについての指導にも、力を入れなければならないと考えます。

最後に、29 年度は保護者によるボランティアが定着してきた年であったと思えます。年間 10 回の読み聞かせボランティア、5・6 年生のミシンの学習、持久走大会、生活科の町たんけんの付添いなどに加え、今年度は集金業務にもご協力いただきました。その他、運動会では席の取り方等、例年と異なる方法を取り入れましたが、保護者の皆様のご理解とご協力により滞りなく進めることができました。また、地域人材として地域の自然に関することや昔遊びなどでゲストティーチャーとしてご協力いただくなど、保護者・地域の皆様のおかげで充実した教育活動を行うことができました。

今後も保護者・地域の方のお力をいただきながら、より「地域に開かれた学校」をめざしてまいります。

なお、学校運営に関するご意見・ご感想はいつでもお受けし、よりよい西初石小学校にしていきたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。